

施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

施策体系	政策	1	支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり		
	施策	2	健康づくり	福祉子ども部	田中 克広

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 市民が主体的に行う健康づくりの取組を総合的に支援するとともに、社会全体が相互に支え合いながら、市民の健康を維持・増進する環境を整備します。
 ○ 食生活の改善や運動習慣の定着等により健康を増進することに重点を置いた取組と、合併症の発症等重症化を予防することに重点を置いた対策の推進により、健康寿命の延伸を実現し、自立した社会生活を営むことを目指した心身機能の維持及び向上につながる対策に取り組みます。

2. 令和3年度の取組内容及びその成果



- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に関しては、コロナ禍の中、ポピュレーションアプローチとして、運動の動画をオンデマンド配信し、自宅でも運動に取り組めるよう啓発しました。また、後期高齢者健診受診者で、低栄養や口腔機能が低下した方を対象に歯科衛生士や管理栄養士による個別支援を実施しました。
- ・がん検診の受診率向上を目指して、69歳までのがん検診対象者にダイレクトメールにて受診勧奨を実施しました。(23,461件)
- ・がん検診については、密にならない工夫や、マスクの着用・体温測定等、新型コロナの感染防止に努めながら検診を実施しました。また、個別医療機関で実施の胃内視鏡検査に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い受診機会が少なくなっている状況を踏まえ、実施期間を令和4年2月まで延長しました。
- ・名張ケンコー！マイレージのイベントについて、三重県の指針等に基づき、感染予防対策を講じながら、可能なものは開催し、継続して健康づくりに取り組むきっかけとなる場を提供しました。
- ・食育推進庁内連絡会議において計画の実施状況を把握するとともに、食育推進会議において令和2年度の進捗状況を確認し評価を行いました。
- ・食のボランティア養成講座「栄養教室」を開講し、修了した8人が令和4年度から食のボランティアとして活動することになりました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、感染症による様々な影響を抑えるため、名賀医師会等関係機関の協力のもと、新型コロナワクチン接種体制を整備し、希望される市民へのワクチン接種を実施しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
健康な暮らしを送っていると感じている市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	83.0	79.7%
	成果	76.6	77.8	81.6	81.5	81.7		
特定健康診査受診率(国民健康保険)(%)	目標	-	-	-	-	-	56.9	18.2%
	成果	41.0	42.5	43.0	43.3	43.9		
食に関するボランティア会員数(人)	目標	-	-	-	-	-	100	51.7%
	成果	71	82	95	99	86		

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・「健康な暮らしを送っていると感じている市民の割合」については、全体では81.7%で、昨年度から横ばいとなっていますが、年齢別にみると60歳以上で低くなる傾向にあり、急激に高齢化する名張市の現状に鑑み、介護予防の取組等が重要になっています。また、30~39歳では前回に引き続き減少しており、コロナ禍で外出の自粛や社会参加に制限がかかるなか、身体面だけではなく、精神面の支援も重要となっています。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域のサロン活動や各種イベントの中止など、市民が外出し、集い、活動する機会が減少しています。高齢者のフレイルの進行や認知機能の低下、検診の受診率の低下などが懸念される中で、自宅で行う健康づくり活動の情報提供や動画配信などに取り組む必要があります。
- ・感染拡大防止に配慮した地域活動の実施方法の説明や利用者・運営スタッフに対して感染予防に関する健康教育を実施する等、通いの場の再開に向けて支援が必要です。
- ・特定健診の受診率については、コロナ禍にあっても上昇している状況です。定期的に健診を受診することは、自分の体の状態を知り、疾患等の早期発見につながることから、継続受診について啓発していく必要があります。
- ・コロナ禍でも自宅健康づくり活動に取り組めるよう「まちじゅう元気チャレンジノート」の活用について情報発信に努めます。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、食のボランティアの活動が難しい場合があり、今後の活動に向けての支援が必要です。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和4年度以降)



- ・新型コロナウイルス感染予防対策を実施しながら、後期高齢者への保健事業、介護予防を実施し、生活習慣病予防や重症化予防、フレイル予防に向けた体制づくりを進めます。
- ・地域の通いの場等の円滑な再開に向け、感染防止対策を踏まえた地域活動の実施支援に取り組みます。
- ・特定健診の受診について、継続受診の勧奨を実施するとともに、がん検診の精密検診受診率の向上や糖尿病重症化予防に取り組みます。
- ・第4次健康なばり21計画や第2次名張市ばりばり食育推進計画に基づき、地域づくり組織やまちじゅう元気リーダー、食のボランティア等関係者と連携し、計画を推進していきます。
- ・新型コロナ感染症について、引き続き、関係機関等と連携し感染拡大防止への対応を行っていきます。また、感染症に係る情報を広報、ホームページ等で発信し、啓発に努めます。
- ・感染防止・重症化予防のために、国の方針に基づいて、引き続き新型コロナワクチンの接種を推進するとともに、子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨・接種推進に取り組みます。

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	PCR検査センター事業費	福祉子ども部	医療福祉総務室	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、三重県からの委託を受け、市と名賀医師会が協働して、名張市PCR検査センターを開設し、PCR検査を受けやすい環境を整備するとともに、地域医療体制を確保し、感染拡大防止の取組を進めました。	7,256	0	8,926
一般	かかりつけ医と専門医、保険者の協働による予防健康づくり事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	厚生労働省保険局モデル事業として、生き辛さを抱えた方へ社会的処方に基づいた支援を推進するための取組を実施しました。 ・医師会、保険者、支援者の連携による生活習慣病重症化予防の取組と社会生活面への支援の取組 ・地域コミュニティにおける市立病院等との協働による予防健康づくり活動（講座、教室、相談等）の取組 ・社会的処方の担い手育成のための研修プログラムの作成と人材育成の取組（地域住民対象のリンクワーカー研修及び名張市立病院との合同研修）	7,068	0	0
一般	がん対策事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	がんの早期発見、早期治療につなげるため、40歳以上の市民を対象に肺がん、胃がん、大腸がん、乳がんマンモグラフィ検診、20歳以上の市民を対象に子宮がん、乳がんエコー検診、55歳以上の市民を対象に前立腺がん検診を医療機関委託と集団検診によって実施しました。 ・医療機関個別検診（胃カメラのみ実施期間を延長） ・集団検診の実施 ・地域と協働で検診実施 ・受診勧奨個別通知の実施 ・二重読影体制の整備 ・要精検の受診勧奨 ・個別検診実施医療機関チェックリストの調査	105,377	74,315	106,676
一般	結核予防・予防接種事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	予防接種法に基づく定期的予防接種を医療機関への委託により実施しました。また、乳幼児インフルエンザ予防接種費用や、定期予防接種を県外で接種した場合の費用を助成しました。 ・予防接種法に基づく定期予防接種の実施及びその他予防接種の実施 ・風しんの追加的対策に係る抗体検査の実施	222,187	156,413	255,199
一般	健康づくり事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	まちじゅう元気推進協議会の運営及び食生活改善推進員の養成と活動支援、健康相談、歯周疾患検診等を実施しました ・まちじゅう元気推進協議会、食生活改善推進協議会や楽食会等食ボランティアと連携した各種事業の実施 ・歯周疾患検診事業の実施	6,409	2,225	9,668
一般	新型コロナウイルスワクチン接種事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	新型コロナウイルスワクチン接種を推進するため、ワクチンの供給依頼と保管・搬送、対象者への接種券発行及び送付、接種体制と医療従事者を含む従事者の確保、集団接種の予約管理、接種費用の支払い、接種記録の管理、広報や相談コールセンターによる相談対応窓口等を実施しました。 ・ワクチン接種延べ回数 34,186回	257,202	85	201,124

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	新型コロナウイルスワクチン接種事業<令和2年度繰越分>	福祉子ども部	健康・子育て支援室	<令和2年度繰越分> ・ワクチン接種延べ回数 123,067回	439,642	5	0
一般	生活習慣病予防重点プロジェクト事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	特定健診の受診率向上に向け、特定健診及びがん検診を同時受診できる集団健診を実施しました。また、糖尿病性腎症重症化予防・糖尿病重症化予防に取り組みました。 ・ケーブルTV放映とWeb配信で市民公開講座を実施 ・特定健診の実施	6,000	0	5,000
一般	地域保健医療推進補助金	福祉子ども部	健康・子育て支援室	健康づくり、地域福祉、地域医療など、保健・福祉・医療全般にわたる各種事業を円滑に推進するに当たり、名賀医師会、伊賀歯科医師会に対し、必要な運営経費の補助を行いました。	10,200	10,200	10,200
一般	保健事業と介護予防の一体的実施事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	後期高齢者を対象に、低栄養や口腔機能の低下を予防するハイリスクアプローチを実施しました。また、サロン等でフレイル予防のポピュレーションアプローチも実施しました。	3,669	0	4,135
一般	母子健康診査事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	母子健康手帳の発行により、妊婦を対象としたサービスを早期から提供できるよう努めました。また、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、1歳6か月児・3歳6か月児の健康診査を実施し、疾病・異常の早期発見に努めるとともに、育児状況の確認と助言を行い、親と子の健康支援に取り組みました。 ・母子健康手帳発行数 383件 ・1歳6か月児健康診査 24回 ・3歳6か月児健康診査 24回	3,066	3,066	3,243